

なぜ審美歯科に長期症例がでてこないか？



行田 克則 先生

生年月日：1957年9月22日

1976年4月～1982年3月 日本大学歯学部
1982年4月～1986年3月 日本大学歯学部
大学院



小田中 康裕 先生

1964年 岩手県出身
1984年 岩手歯科技工専門学校卒業
1986年 国際デンタルアカデミー
ラボテックスクール卒業
1986年 国際デンタルアカデミー
ラボテックスクール入社
1993年 スイス、Willi Geller
oral design center 留学
1996年 上北沢歯科勤務
1998年 有限会社バーレン開業
oral design メンバー



松山 智子 先生

生年月日：1972年11月4日

1990年～1996年 日本大学歯学部
1996年～1997年 日本大学歯科病院研修医
補綴第3講座（クラウンブリッジ学）在籍
1997年～2001年 東京医科歯科大学大学院
保存第2講座（歯周病学）在籍
2001年～現在 医療法人社団は・匠会
上北沢歯科 勤務

近年審美的な要求が増し、術者に求められる技量、要望もとどまる様子がない。開業医にとって審美的な新材料の情報は重要であり、各医院の努力が求められるところである。こうした新材料の導入に相まって、当然それを扱う新技術の導入も必要となっている。しかしオールセラミック、ラミネートベニアなどを導入したからといって、必ずしも患者に新材料、新技術の恩恵が享受できるとは限らないと当歯科医院では考えている。理由としては、欠損部に対する強度、咬合を考えたときの材料の適否等への考察不足等が挙げられ、いずれにせよ臨床での歴史が浅いということはまだ観察する余地があり、即座に臨床家が導入してもよいということにつながらないからである。

当院では、審美材料としていまだに、pfmクラウン(=メタルボンド)を中心として臨床を行っており、術後の長期経過の観察から、これに取って代わる修復材料も見当たらないとも考えている。そこでpfmクラウンの問題点そしてそれを受け入れる歯周組織への考察不足への風潮についても解説し、ほとんどの一般開業医が既に導入しているpfmクラウンでの長期に亘る審美補綴について講演したい。

また今回は印象を行なうアシスタントドクターや技工士の考えなども交え、当院の治療に対するコンセプトも披露できればと考えている。

■参加お申し込み方法

お申し込みは下記参加お申し込み欄にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。必要欄に記入された申し込み用紙が届きましたら弊社より振込用紙を送付させていただきますので、受講料を下記口座にお振込み下さい。ご入金をもって正式受付とさせていただきます。領収書は振込用紙の控えをもって代えさせていただきます。

お申し込み後のご解約は講演会日1ヶ月前(平成20年5月29日)迄のものにつきましてはお振込みいただいた金額から振込み手数料を差し引いた金額を返却させていただきます。平成20年5月29日以降のご解約については頂いた受講料を返金致しかねますのでご了承ください。

FAX: 078-303-2151

■参加お申し込み欄

参加者ご氏名

いづれかに○をつけてください
歯医・技・衛

歯科医院名

ご連絡先

住所：〒

TEL：

FAX：

E-mail：

振込先：郵便振替番号 00970-7-72092

加入者名 株式会社 茂久田商会

データ廃棄希望

受講申込書に記載された個人情報(各種セミナー 製品情報 ご案内)等の送信/送付データとして使用させていただく場合がございます。尚、いただいた依頼事項処理後データ廃棄を希望される方はデータ廃棄希望欄にチェックの上、送信ください。

2008年 6月29日(日) 10時～16時

■会場：モクダ歯科研修センター
神戸市中央区港島南町4丁目7-5

■定員：100名

■受講料(昼食代込み)：
歯科医師 12,000円
技工士 6,000円
衛生士 3,000円
(スタッフ)

■お申込み・お問合せ：株式会社 茂久田商会
078-303-8241 担当：岡本



交通手段

ポータライナー：
神戸空港駅より6分、三宮駅より12分
神戸交通振興バス：
ポートアイランド線 MOL方面行き



モクダ歯科研修センター